

海外安全対策情報（2026年第1四半期）

在ギリシャ日本国大使館

1 社会・治安情勢

- (1) アテネ市内で観光客等を狙った窃盗事件が多発しています。常に周囲の様子や、旅券、クレジットカード、現金等の貴重品の所在に注意してください。また、高価な装飾品（バッグ、アクセサリ等）は身につけないようにしましょう。
- (2) アテネでは各種労働組合等によるデモや抗議集会が連日のように行われています。大半は平和的に行われますが、一部が暴徒化する可能性もあり、一定の注意が必要です。不用意に近づかないよう注意してください。
- (3) アナキストグループの活動が活発で、様々な口実、特に国際情勢に合わせて政府関連施設、企業、各国大使館等に対する攻撃を行っています。特に、イスラエル・パレスチナ情勢、イラン情勢に伴い、関係公館等に対する抗議活動が活発に行われているところ、今後、何らかの理由で日本関連施設が標的となる可能性も排除できない状況です。
- (4) フェリー、地下鉄等の公共交通機関やタクシーが全面的に運休するような、大規模なストライキが度々行われるほか、上記（3）に伴う交通規制も行われています。
- (5) サッカーやバスケットボールなどのスポーツイベントも活発に行われているところ、一部過激サポーター同士の衝突も見受けられることから、観戦等を行う場合は注意が必要です。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) アテネ市内で邦人の盗難被害が多発しており、特に電車内、観光施設、レストランでの被害が集中しています。当地での窃盗事案は、主に腕利きの犯罪集団による犯行であり、在留邦人や旅慣れた旅行者も被害に遭っています。
明るい時間であっても、リカヴィトスの丘やモナスティラキ広場のような観光地において、集団で金銭や貴金属のアクセサリ等を奪い取る強盗事案が発生し、邦人も被害に遭っています。
- (2) 旅行者を狙った不当なサービス料金請求や釣り銭ごまかしなどの金銭トラブルも発生しています。値段表記や正確な支払手続きが行われたかを確認してください。
また、キオスクやガソリンスタンドでクレジットカードを不正利用されたスキミング被害のほか、ホテル予約サイトや郵便局・銀行を装ってメールやSMSを送信するフィッシング詐欺の被害が報告されています。メールやSMSで送信されたリンク

にはアクセスせず公式サイトや公式アプリを利用するとともに、こまめに利用明細を確認し、被害が発覚したら速やかに銀行やカード会社の窓口に連絡しましょう。

- (3) 依然として、アテネ市内（空港や中心地）において、自称ギリシャ人男性が邦人に対し、「電話で日本人と話してほしい」と声をかけ、巧みに返金の意思を見せつつ携帯 SIM 購入や両替手数料として金銭援助を求めるものの、一向にその料金を返金しないとのトラブル相談が複数寄せられています。本事例は旅行者の親切心に付け込み金銭をだまし取る行為であり、貸してしまったお金を取り戻すのは困難です。見知らぬ人にお金を貸してほしいと頼まれた場合、安易に信用せず、連絡先等を教えることなくその場から立ち去り、同様のトラブルに遭わないよう十分に注意してください。

【代表的な邦人被害事案の手口の例】

- ア アテネの市街地や地下鉄内、駅構内におけるスリが最も多く、知らぬ間にリュックサックや鞆を開けられ、財布等を盗まれています。被害防止のため、リュックサック等を身体の前でしっかり保持することが重要です。
- イ アテネ市内では、観光客を狙った物売りの集団に話しかけられ、荷物から注意をそらした隙に鞆などを盗まれる被害が発生しています。
- ウ 「日本人の友人に日本語で電話をしてほしい。今現金が手元にないので携帯 SIM 代、ローミング代を貸してほしい。後ほど銀行に行って返す。」等と声を掛け金銭援助を要求され、その後銀行に同行したところ、「銀行で両替手数料がかかるので貸してほしい」といった新たな口実により、繰り返し金銭援助を求める手口も報告されています。当事者間で携帯の連絡先を交換して返済の口約束をするものの、結局返金されません。

3 テロ・爆弾事件発生状況

この期間中、当地でのテロ行為は認知していませんが、今後当地でのテロ発生の可能性はゼロではありません。また、アナキスト等による閉店後の店舗や雑居ビル等を狙った爆発物事案や、オモニア・エクサルヒア地区周辺における警察部隊との衝突なども発生しています。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

この期間中、邦人が被害に遭った事件は認知していません。

5 日本企業等の安全に関する諸問題

具体的な問題の把握はありませんが、当地では、環境問題や労働者の待遇、解雇や作業事故などを口実として、アナキストが企業を攻撃するケースが多く発生していることから、注意が必要です。